

**2017～2018年度
国際ロータリー第2510地区ローターアクト**

第45回地区協議会 報告書



日 時：平成29年9月30日（土）

場 所：ホテル函館ロイヤル

ホ ス ト ク ラ ブ：函館大学ローターアクトクラブ

提 唱 ロ ー タ リ ー：函館東ローターアクトクラブ

プログラム

14:00～ 受付開始

14:30～ 開会式

【司会】 小野寺 知香

点鐘	国際ロータリー第2510地区ローターアクト代表	山下 彩夏
開式の辞	第45回地区協議会実行委員長	吉田 直輝
国歌・ローターアクトソング斉唱		
ご来賓・参加クラブ紹介	国際ロータリー第2510地区ローターアクト代表	山下 彩夏
地区ローターアクト代表挨拶	国際ロータリー第2510地区ローターアクト代表	山下 彩夏
実行委員長挨拶	第45回地区協議会実行委員長	吉田 直輝
ご来賓挨拶	国際ロータリー第2510地区第10グループガバナー補佐	石川 強 様
提唱ロータリークラブ会長挨拶	函館東ロータリークラブ会長	山谷 譲治 様

15:00～ メインプログラム①

【司会】 小野寺 知香

◆パネルディスカッション

- ・ローターアクトOB 畑井 福太郎氏を交えた、ローターアクトに関するパネルディスカッション

16:30～ メインプログラム②

【司会】 三浦 幸恵

◆グループディスカッション「会員増強、新しいクラブの創設、全国RA研修会について」

- ・全体説明
- ・各グループに分かれて、グループディスカッション
- ・発表、総括

17:30～ 閉会式

【司会】 小野寺 知香

講評	国際ロータリー第2510地区ローターアクト委員長	川下 和光 様
閉式の辞	第45回地区協議会実行委員長	吉田 直輝
点鐘	国際ロータリー第2510地区ローターアクト代表	山下 彩夏
記念撮影		

18:00～ 懇親会

【司会】 伊藤 諒

乾杯の挨拶	国際ロータリー第2510地区副代表幹事	石山 嘉治 様
締め挨拶	国際ロータリー第2510地区青少年奉仕委員長	西方 洋昭 様

20:30～ 二次会

参加者ご芳名

◀◎：会長 ○：副会長 ●：幹事▶

ご来賓

国際ロータリー第2510地区第10グループガバナー補佐	石川 強 様	(七飯ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区代表幹事	森川 順治 様	(函館ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区副代表幹事	坂本 修康 様	(函館ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区副代表幹事	吉川 達也 様	(函館東ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区副代表幹事	石山 嘉治 様	(森ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区幹事	大槻 継也 様	(函館ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区地区職業奉仕・基本理念委員長	玉井 清治 様	(函館亀田ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区青少年奉仕委員長	西方 洋昭 様	(岩見沢ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区青少年奉仕副委員長	今井 義憲 様	(函館東ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区ローターアクト委員長	川下 和光 様	(札幌幌南ロータリークラブ)
函館東ロータリークラブ会長	山谷 譲治 様	

パネリスト

国際ロータリー第2510地区ローターアクトOB	畑井 福太郎 様
-------------------------	----------

ロータリークラブ

国際ロータリー第2510地区ローターアクト副委員長	川本 康裕 様	(室蘭北ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区ローターアクト委員	堀 英二 様	(函館東ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区ローターアクト委員	宇戸 啓隆 様	(赤平ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区ローターアクト委員	山中 正一 様	(千歳ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区ローターアクト委員	高橋 耕 様	(札幌幌南ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区ローターアクト委員	渋谷 繁男 様	(小樽ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区ローターアクト委員	齋藤 聡 様	(岩見沢ロータリークラブ)
赤平ロータリークラブ ◎ 松尾 和俊 様	● 早坂 喜幸 様	
千歳セントラルロータリークラブ ◎ 四方 信次 様	臼田 暢 様	
函館五稜郭ロータリークラブ ● 岡田 恒男 様	後藤 広隆 様	
函館北ロータリークラブ ◎ 深瀬 晃一 様		
函館東ロータリークラブ ○ 小野 孝良 様	● 田中 治 様	五十嵐 正 様
	石畑 弘樹 様	佐藤 雄喜 様
	新保 栄子 様	平井 喜一 様
	吉田 恵美子 様	吉田 昇 様
		三輪 生治 様

ローターアクトクラブ

国際ロータリー第2510地区ローターアクト代表	山下 彩夏	(赤平ローターアクトクラブ)
国際ロータリー第2510地区副代表	石川 樹	(赤平ローターアクトクラブ)
国際ロータリー第2510地区幹事	村山 はるか	(千歳ローターアクトクラブ)
国際ロータリー第2510地区広報	深貝 友香梨	(札幌幌南ローターアクトクラブ)
国際ロータリー第2510地区直前代表	三浦 幸恵	(札幌幌南ローターアクトクラブ)
国際ロータリー第2510地区代表ノミニー	小野寺 知香	(赤平ローターアクトクラブ)
室蘭北ローターアクトクラブ ● 畠山 裕太		
赤平ローターアクトクラブ 塩地 恵実	武田 洋平	
千歳ローターアクトクラブ 森 琢哉		
函館大学ローターアクトクラブ ◎ 餌取 皇大	● 伊藤 諒	吉田 直輝

開会式

9月30日(土)にホテル函館ロイヤルにて、第45回地区協議会が開催されました。テーマは「温故知新」。地区協議会はローターアクトについての知識などを学ぶことができる機会です。ローターアクターの他、36名のロータリアンにもご参加いただきました。

また、開会前には第2回会長幹事会を開催し、今後2510地区の目指すべき方向性について話し合いました。



前のめりに話す石川地区副代表



会議に参加する会長・幹事たち



受付担当地区役員たち



石川地区副代表の点鐘



吉田実行委員長の開会の辞



ご来賓の皆さま



ロータリアンの皆さま



参加ローターアクトクラブ紹介



地区代表代理挨拶



吉田実行委員長挨拶



石川ガバナー補佐ご挨拶



函館東RC山谷会長ご挨拶

メインプログラム① ～パネルディスカッション～

パネラー

パネリスト



畑井 福太郎 様
(函館ローターアクトクラブOB)



石川 樹
(2510地区RA副代表)



川下 和光 様
(2510地区RA委員長)



様々なお話が聞けました



質疑応答も行いました



畑井様への謝礼贈呈

メインプログラムとして、函館ローターアクトクラブOBである畑井 福太郎様をパネラーとしてお招きし、川下地区ローターアクト委員長、石川地区ローターアクト副代表の3名でパネルディスカッションを行いました。ローターアクトに入会したきっかけ、また、入会して感じたことやローターアクトの活動を通じての思い出・感じたことについても触れていました。その中で一部内容を掲載いたします。

◆地区役員として感じたこと

【石川地区副代表】

地区を運営するためにはRC・RACの協力が重要。そうすることで困難も乗り越えることができる。そのことを地区役員になると、より実感できる。

【畑井様】

まとめ役になった時にどう伝えれば伝わるのか考える力が身についた。

◆行事を通して学んだこと

【石川地区副代表】

段取りの大切さを学んだ。また、根拠・目的を持つことが大切だと再認識した。

【畑井様】

段取り8割。事前準備の大切さを学んだ。それは、仕事の面でも活かされている。自分が足を運ばないといけない。そうすると他地区からも来てくれるだろう。

【川下地区RA委員長】

RACは失敗してもいい場。それを自身の糧にし、再度繰り広げなくてはならない。

(次ページへ続く)

◆全国ローターアクト研修会に参加して感じたこと

【石川地区副代表】

全国のローターアクターの熱量に圧倒される。道外のローターアクターとの交流が魅力。活動内容を聞くだけでも勉強になる。全研の要綱でも情報交換と親睦が目的と記されている。

【畑井様】

全国同じ志をもつ仲間との交流が大切。全国でも悩んでいることは意外と同じ。お互いの地区で実施している対策についても共有することでヒントをもらえる。

◆今と昔のローターアクターを比較して変化したこと

【石川地区副代表】

会員減少。また、いい意味での「アクトバカ」も減少しているのではないか。自分らがアクトの魅力について発見し発信していく必要がある。

【畑井様】

ロータリーの活動、ローターアクトの活動を互いに知り、楽しんで活動をしていく必要がある。アクター自身が活動を楽しむことで、ロータリアンとも関係を築いていける。

【川下地区RA委員長】

ローターアクトの楽しみ方は自分たちで切り開いていくことができる。

◆今後地区ローターアクトとして求められること

【石川地区副代表】

これから全研に向けて、自分たちで運営する、仲間も増えていこう。そのためにも現役のアクターが様々な行事に参加し、楽しんで魅力を発見していかななくてはならない。

【畑井様】

多くの行事に参加してみる。自身の仕事等のスケジュールも調整は可能。自分の活動に胸を張ってできれば会社の人にも理解してもらえるだろう。

プログラムを通じ、現役アクターの足りないものは何か、どのような行動をとればよいのかを考えられる良い機会となりました。また、このパネルディスカッションで参加者が感じたこと、学んだことを各自クラブに戻ってから伝えることが必要不可欠であると感じました。

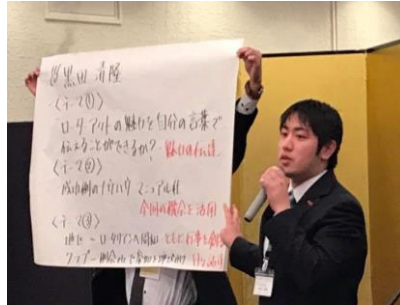
お忙しい中私たちのためにお時間を作っていただきました畑井様、パネリストとしてご自身がローターアクトに在籍していた時のお話もふまえ進行していただいた川下地区ローターアクト委員長にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

メインプログラム② ～グループディスカッション～

プログラムの後半はグループディスカッションを行いました。ディスカッションを通じ、会員増強および新規クラブ創設は、会員がローターアクトの魅力をより理解しながら、全国ローターアクト研修会のためにも、現在実施している活動をロータリアンの方々や地域の方々に積極的に周知し、提唱ロータークラブをはじめ、たくさんのロータリアンの方々にもご協力をいただけるよう、努力していきたいと思いました。



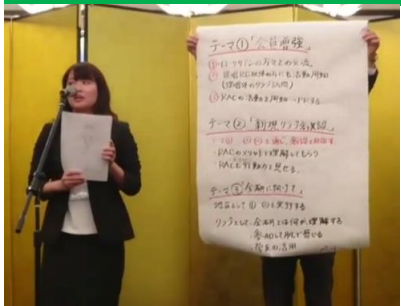
発表時の様子



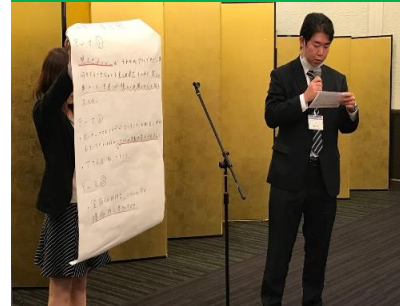
黒田清隆グループ



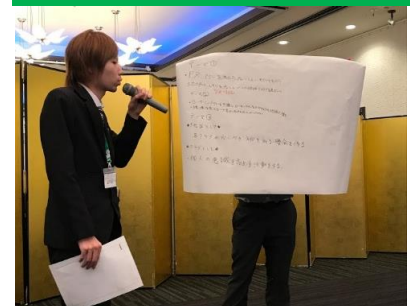
石川啄木グループ



ペリーグループ



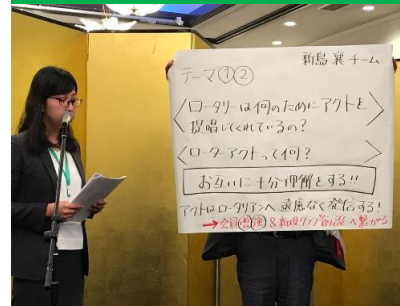
高田屋嘉兵衛グループ



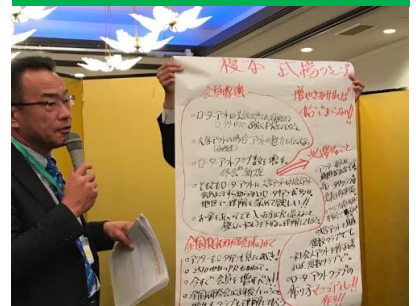
土方歳三グループ①



土方歳三グループ②



新島襄グループ



榎本武揚グループ

ディスカッション テーマ

- ①「会員増強のために必要なこと、すべきこと」
- ②「新規クラブ創設（休会クラブの復活のため）に必要なこと、すべきこと」
- ③「全国ローターアクト研修会にむけて今後何をすべきか（地区・クラブ）」

【黒田清隆】①ローターアクトの魅力の伝達 ②成功例のノウハウのマニュアル化 ③RCへのRAC活動周知

【石川啄木】①②RACを楽しみ、行事に積極的に参加 ③全研の周知（地区）、協賛の呼びかけ（クラブ）

【ペリー】①活動PRしRCからの紹介 ②活動を通してRACのメリットをRCの理解を求める ③全研への参加

【高田屋嘉兵衛】①参加する意義を現役アクターが知る ②RCへRACの活動内容の周知 ③全研への参加

【土方歳三】①PR、活動を周知 ②地域で、環境を変える ③個人の意識を高める、各クラブの方向性を知る

【新島襄】①②③（RCへRACの活動の周知、RCにRACを提唱する理由を確認）理解を深め、会員増強

【榎本武揚】①PRし、会員増強を図る ②RACの作り方マニュアルの作成 ③全研周知、会員増強

閉会式

閉会式では、川下地区ローターアクト委員長よりご講評いただきました。今回の地区協議会では、ローターアクトクラブ・ロータークラブでの考え方のちがいや双方の考えを共有することができ、今後のアクト活動に活かしていきたいと感じました。函館ローターアクトクラブOB畑井様をはじめ、多くのロータリアンの皆様には、お忙しいところお時間を作っていただき、感謝申し上げます。



川下地区RA委員長のご講評



閉会の辞



点鐘...お疲れさまでした!



集合写真



小野寺ノミニーの司会です



会場のようす



看板も作成しています!

懇親会

グループディスカッションの話の続きをすることで、今までの懇親会以上に深く、ロータリアンとローターアクトの垣根を超えて交流ができました。お互いの活動について話し合うことが、会員増強およびロータリアンへのローターアクト活動の周知の第一歩になることを実感しました。

また、さまざまなことを学ぶため、ローターアクトは行事に1人でも、また1回でも多く参加することが必要だと再認識しました。



司会の函館大学RAC伊藤幹事



石山地区副代表幹事の乾杯



懇親会が始まりました！



料理を囲んで…



この二人も盛り上がってます



ロータリアン同士も親睦



これから夜は長いです(笑)



次年度は室蘭北RACがホスト



あっという間に時間が過ぎます



名刺交換の様子



ノミニー、日本酒を飲む！



西方地区青少年奉仕委員長の乾杯

『第45回地区協議会を終えて』

国際ロータリー第2510地区
地区ローターアクト委員長 川下和光

去る、9月30日函館市にて函館大学ローターアクトクラブホストで開催されました。

今回の地区協議会開催にあたり、当日ご参加賜りました第10グループガバナー補佐 石川 強様をはじめ多くのロータリアンのみなさまには感謝申し上げると同時に、大会当日まで準備等お手伝い頂きました提唱クラブであります、函館東ロータリークラブの皆様にも感謝申し上げます。

今回のローターアクト地区協議会は、パネルディスカッション及びグループディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、当地区ローターアクトOBの畑井 福太郎様にパネラーとして参加いただき、現役ローターアクト代表として、地区副代表 石川 樹くんにも登壇いただき今と昔のローターアクトの違いをお話いただきました。今回のパネルディスカッションの意図としてご参加いただいたロータリアンにも当地区アクトの現状を少しでも知っていただく事が出来ればと思いましたが予想以上の反応をいただき一つ成功したかなと思います。

グループディスカッションでは、会員増強・新規クラブ設立・全国ローターアクト研修会にむけてと題し、各グループではローターアクトの意見や発想に対してロータリアンからのアドバイスを得て様々なこたえが出てきて、改めて色々と学ぶことが出来ました。

今回は、本当に沢山のロータリアンにご参加いただき誠にありがとうございました。これだけローターアクトに対してご期待をいただけているということをローターアクトのメンバーと改めて実感し今後ともアクトの活動等を地区内外にどんどん発信していきますので、これからもご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。

誠にありがとうございました。

『第45回地区協議会を終えて』

国際ロータリー第2510地区
ローターアクト副代表 石川 樹

去る9月30日に函館市・ホテル函館ロイヤルにて第45回地区協議会が行われました。

今回は山下地区ローターアクト代表が用務のため、急きょ出席が叶わなかったことから、地区副代表である私が代理として参加いたしました。

本協議会は、いわば「勉強会」であり、地区内での課題や懸念事項をテーマとし、講演等で知識を深め、グループディスカッション等でロータリアンや他クラブの会員の意見や経験を聞きながら、クラブ運営や地区運営ならびに自己のローターアクト活動につなげていくという目的のもと、毎年度開催されております。

今年度は、「会員増強・新たなクラブ創設」と、2020～2021年度にホストを務める予定の「全国ローターアクト研修会」をテーマとし、前半はパネルディスカッション、後半はグループディスカッションを行い、会員各々が自己の研鑽に努めました。

前半のパネルディスカッションでは、函館ローターアクトクラブOBであり、地区ローターアクト代表も務められた畑井 福太郎様をお招きし、畑井様と私の2名がパネリストとして、川下地区ローターアクト委員長の進行のもと、上記テーマをはじめ、数々の経験から学んだことや感じたこととお話しいただきました。僭越ながら私も現役のローターアクト代表として壇上で話しさせていただきましたが、ローターアクトが少しでも私の経験や伝えたことが今後のローターアクト生活に活かしていただけたら幸いです。

畑井様や川下委員長のお話も大変参考になったと思います。私自身も、ローターアクトは「楽しむ場」であることを再認識しました。そのためには、一緒に楽しむ仲間を増やし、一緒にさまざまな場所や行事に参加し、そして学び、楽しむ…時には失敗することもあるかと思いますが、それらも含め、いい意味で「やりたいことをやる！」という雰囲気づくりが重要と改めて感じました。

後半のグループディスカッションでは、会員増強ならびにクラブ創設についてはロータリアンの皆様も同様の課題として日々検討されており、成功例等について情報共有やノウハウの提供等についても、さまざまなコネクションを活用して学ぶ必要があると思いました。また、入会に向けては会員個々が意識を高めて、入会したいと思わせるような環境を日頃の例会等を通じて整えなければとも感じました。また、全国ローターアクト研修会については、ロータリアンの皆様の認知度も低いことから、広く周知広報を行い、ご支援を賜りながらともに準備を進めていくことを参加者全員で共有できたのではないかと思います。

その後は懇親会、二次会等を通じ、参加者全員で親睦を深めることができました。

今回の地区協議会は、現役のローターアクトは普段なかなか聞くことのできないOBの皆様の貴重なお話、過去の素晴らしい経験、現在のローターアクトに活かすことができる内容等非常に濃密な時間を過ごすことができたのではないかと思います。また、ロータリアンの皆様におきましても、当地区の当面の目標とそれに対する会員増強等の諸課題についても認識していただけただのではないかと感じています。約3時間のプログラムではありましたが、有意義な時間だったと考えております。

ただ、地区副代表という立場から、本協議会で感じた課題・反省点を2点述べさせていただきます。

まず、1点目は、ローターアクトの参加人数が12人と明らかに少なかったこと。本協議会は今年2月の会長幹事会に日程や場所が予め提示されていました。仕事やプライベートの予定等あるかとは思いますが、十分予定を調整できる期間はあったと思います。各クラブ（特に会長・幹事）にあえて問いますが、例会で会員に地区協議会の意義を説明し、参加を積極的に呼びかける等のはたらきかけは行いましたか？

確かにホストである函館大学ローターアクトクラブからのPRが十分ではなかったこと、日頃の例会でも参加率が減少していることも要因の一つとは思いますが、ローターアクトの一会員として地区行事に参加する意味を、例会等で会員が全員集まり、考えてもらいたいと思います。そのためにも、ローターアクトの活動の根底である月2回の例会、多くの会員が参加し、さまざまな課題をぶつけ合うと同時に、いろいろな例会内容を検討し、実行してみてください。

今年度の地区大会は、6月30日に札幌市で開催を予定しております。地区大会は地区行事の中で最も大きな行事です。つまり、多くの会員が参加してこそ成立する行事です。今から地区でも周知してまいります。各クラブでも「全員登録・全員出席」を目指して会員にはたらきかけてください。

そして、2つ目。今回ホストを務めた函館大学ローターアクトクラブにはもっとホストクラブという意識を持って動いてほしかったです。確かに会員が減少している状況等もあり、地区役員のサポートがないと厳しかった点ではありますが、準備や当日の動きを含め、ほぼ全て「地区役員頼み」になっていたと感じます。

地区行事をホストするというのは、そのクラブや所属する会員が大きく成長できるチャンスです。この経験がローターアクト生活においても、職場でも大きく生かされます。あえて厳しいことを書きますが、今回函館大学ローターアクトクラブはホストクラブとして、何が残ったのでしょうか？今後の例会で会員各々がよく考え、反省し、クラブ運営や各行事に携わっていただきたいと思います。

長々と書いてしまいましたが、畑井様がお話されていたように、「アクトを楽しむには、まずは参加してみないと始まらない」と思います。今いる会員がより意識しないと、会員増強をはじめ、全国ローターアクト研修会のホストは厳しいものになると感じます。せっかくプライベートの時間を割いて、会費を払って参加しているのですから、積極的に関わり、さまざまなことを経験し、そして仲間とともにローターアクトを楽しみましょう。

終わりになりますが、お忙しいところ私たちのためにお時間を作ってくださいました畑井様をはじめ数多くのロータリアンの皆様、そして本協議会のためにサポートしていただきました川下地区ローターアクト委員長、提唱クラブであります函館東ロータリークラブの皆様、そして地区役員の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

◆MEMO◆



◆発行年月◆ 平成29年11月

◆発行元◆ 国際ロータリー第2510地区

ローターアクト地区広報

(深貝・松原・北口)